

2026 年 3 月 4 日

2026 年度総会・研究集会のご案内

2026 年度日本付着生物学会総会・研究集会を下記の要領で開催いたしますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。研究集会のプログラムは、日本付着生物学会のホームページ (<https://www.sosj.jp/>) に掲載すると共に、その旨メールマガジンでお知らせします。

記

日 程：2026 年 3 月 26 日（木）10:00～17:00

会 場：東京海洋大学品川キャンパス 白鷹館 2F 多目的室

参加申し込み：

1. 下記返信フォームにて **2026 年 3 月 13 日（金）** までに申込をお願いいたします。
※学会 HP にも回答フォームが掲載されています。

<https://forms.gle/qjSSUguA6QadDMJ17>



参加用 QR コード

2. 参加費（不課税：総会・研究集会のプログラム、研究発表要旨集、総会資料代を含む。）
※懇親会参加費は別途 5,000 円、当日会場にて現金のお支払いのみの受付となります。
①会員（正会員 2,000 円、学生会員 無料、団体会員 2,000 円、賛助会員 1 口につき 1 名無料）
②非会員 5,000 円、非会員学生 3,000 円
3. 参加費は、**2026 年 3 月 20 日（金）** までに、日本付着生物学会の下記口座にお振込下さい。
ゆうちょ銀行 振替口座 00130-9-772419（他行からの振込 ○一九店(019) 当座 0772419）
加入者名 日本付着生物学会
※お振込期限（3 月 20 日）を過ぎた場合は、当日受付において参加費をお支払いください。

プログラム

10:00～10:05 開会の辞

10:05～12:10 研究発表（午前の部：1 講演につき質疑を含め 15 分）

1. 10:05～10:20
ポリメタクリル酸 2-ヒドロキシエチルグラフト化微粒子薄膜における生体キブリス幼生の一時付着力
町田拓海[○]（工学院大）、野方靖行（電中研）、小林元康（工学院大）
2. 10:20～10:35
フジツボセメントタンパク質の架橋アミノ酸の分析
赤星雄飛[○]、広瀬雅人（北里大院海洋）、野方靖行（電中研）
3. 10:35～10:50
天然物と非天然物の双方を合成標的とする環境低負荷な生物付着阻害剤の開発研究
高村浩由[○]、木之下雄哉、杉浦立暉、松山大希、杉谷侑紀、森下諒平、田中健太、門田功（岡山大）、頼末武史（兵庫県立大／人と自然の博物館）

一休 憩一

4. 11:00～11:15
カミクラゲ *Spirocodon saltator* が放出する捕食者防御物質のバイオフィルム形成抑制効果と生合成経路
三浦那々[○]、秋元雄大、寺原猛、田中誠也、永井宏史、神尾道也（東京海洋大）、山本岳、笠川宏子、櫻井徹、足立文（新江ノ島水族館）
5. 11:15～11:30
能登半島で漁業者を悩ませている“震災サザエ”について
田所悟[○]（(有)自然環境調査）、石川竜子（わじま海藻ラボ）
6. 11:30～11:45
深海底映像からのカルエボシ自動抽出に向けた YOLO の適用と評価
中西晴紀[○]（日大）、渡部裕美、西川悠（海洋研究開発機構）、吉田毅郎（日大）

—休 憩—

話題提供 11：55～12：10
静かに脈わう命のゆりかご
—塩性湿地との会話—
マングローブ音響 2026
提供：Blue Carbon Sound

—昼 食—

13：30～14：00 総会
14：10～14：55 研究発表（午後の部：1 講演につき質疑を含め 15 分）
7. 14：10～14：25
海底熱水鉱床周辺に分布するフジツボ類ハツシマレパスの集団の連結性の解明
長岡毅朗[○]（北里大海洋）、渡部裕美（海洋研究開発機構）
8. 14：25～14：40
江ノ島の潮間帯および潮下帯浅所の海藻相の遺伝的調査
高良龍之介[○]、羽生田岳昭（北里大海洋）
9. 14：40～14：55
本州太平洋沿岸におけるアラメ（褐藻綱コンブ目）の分布域の変化
高橋杏（北里大海洋）、佐藤寛志（みちのくダイビング リアス）、羽生田岳昭[○]（北里大海洋）

—休 憩—

15：15～16：00 招待講演
「海とクラゲと付着生物の世界」
石井晴人 博士（東京海洋大学・准教授）

—休 憩—

16：15～17：00 招待講演
「藍色光の生物付着抑制作用の発見と超高輝度装置の開発及び事業化」
山下桂司 博士（セシルリサーチ・技術顧問）

17：30～19：30 懇親会（東京海洋大学品川キャンパス 生協食堂）

参加・発表の問合せ先

日本付着生物学会事務局
E-mail：sosj-post@as.bunken.co.jp

以 上